

東京大学情報基盤センター

トライアルユース利用成果報告書

提出日： 年 月 日

研究題目 (申込課題名)			
フリガナ 氏 名 (※1)	印	利用者番号 (プロジェクトコード)	
所 属 (※2)			職 名
利用計算機 システム			
申込区分	1. 無償トライアルユース		2. 有償トライアルユース
コース	1. パーソナルコース (※3 1口・2口・3口)	2. グループコース	3. グループコース (企業利用)
利用期間	年 月 ～ 年 月		
成果公開 (※4)	◆グループコース（企業利用）のみ 1. 即時公開 2. 公開延期（成果公開予定： 年 月）		
公開延期の理由	◆上記（成果公開）で「2. 公開延期」を選択された場合はその理由をご記入願います。		

本報告書は、利用状況調査等に活用し、センター広報・Web ページには利用件数を公開いたします（グループコース（企業利用）を除く）。

- ※1 グループコースの場合は、利用申込書に記載した代表者名を記入してください。
- ※2 企業の方の場合は、企業名および部署名を記入してください。
- ※3 Oakbridge-CX, Oakforest-PACS を利用した場合のみ、いずれかに○をつけてください。
- ※4 グループコース（企業利用）については、本報告書の内容は原則公開され、センター広報・Web ページに公開されます。ただし、利用者の申出により最大で2年間公開を延期することができます。

- 本報告書は、利用期間終了後1ヶ月以内に東京大学 情報システム部 情報戦略課 研究支援チームまでご提出ください。
- 本様式の変更はできません。

受付日	年 月 日	受付印	
-----	-------------	-----	--

※記入の際は各項目の枠内に収まるように記入してください。補足資料を付加することは可能です。

1. 利用の概略
1) 利用目的・内容
2) 利用意義
3) スーパーコンピューターを利用する必要性
2. 成果の概要
1) 今後得られるであろう成果の見通し ※ 内容を以下のうちから選択の上、計算機利用の観点から得られた知見を中心に記載してください。 (1. 計算科学、 2. コンピュータ・サイエンス、 3. プログラムチューニング、 4. その他)
2) 社会・経済への波及効果の見通し ※ パーソナルコースを利用された企業の方およびグループコース（企業利用）の場合のみ記入
3) その他の成果

※記入の際は各項目の枠内に収まるように記入してください。補足資料を付加することは可能です。

利用アンケートにご協力ください。

1) 今後のご利用希望

1-1) 今後のご利用希望の有無（有・無）

1-2) 理由

2) 利用に関して有益であった事項

3) 利用に関して生じた問題点

4) トライアルユースから通常利用に移行する場合の問題点

5) 情報基盤センターのユーザーサポートに必要なこと

6) 利用に係る感想・改善を希望すること

7) 本利用で得られた成果や公表予定の成果があれば、以降に記述をお願いします。